

保育実習のDX化： web アプリによる実習日誌作成支援システムの構築

門傳 みこ* 中桐 齊之* 向坂 幸雄**

兵庫県立大学環境人間学部* 中村学園大学短期大学部幼児保育学科**

1. はじめに

近年、様々な分野でDXが推進されており、学校教育においてもICT化が急速に進行している。一方、幼児期の教育を担う保育の世界では、今まさにその進行が始まりだしたところである。従事人材層の特性や、子どもの発達段階の違いから、小学校以上の教育活動に比べると保育の現場へのICTの導入はなかなか進んでこなかった。

昨今の人手不足とそれを補う業務の効率化を背景に、ようやく一部の現場でICTの導入が進みだしたところであるが、全ての現場の理解を得た統一的な指導体制が求められる保育者養成教育の分野では、学生の保育現場での実習日誌や指導案の執筆も手書きが基本であり、執筆・書き直しのために要する時間や労力等、ただでさえ大変な現場での実習期間中の日々の課題として学生の負担は大きい(請川, 糸原, 吉岡, 加藤, 日下部, 根津, 2023)。こうした負担が本来の保育の知識・技能の習得以前にドロップアウトしてしまう学生を生み出すことに繋がっており、そのことが業界の人材不足に拍車をかけている要素もあることから業界として改善を目指すことは社会的意義も大きい。保育者養成校の中には日誌のページ数を削減し、学生の負担感を減らす動きもみられるが、実習日誌の執筆は保育者

を目指す学生にとって、保育者の働く様子や子どもの行動を観察した内容を記録し、指導者と共にその受け止めを確認し、振り返る上で必要不可欠なものであり、単純に日誌の量を減らすことは養成教育の質の低下にもつながることから、質を維持した効率的な日誌の執筆環境の構築が求められる。

2. 保育実習とは

厚生労働省は保育実習の目的を「その習得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟させることを目的とする。」と定めている(保育実習実施基準)。その期間中の経験を記録する実習日誌は、保育士を目指す学生にとって保育者の働く様子や子どもの行動を観察した学びの記録や振り返り、指導者との共有のうえで必要不可欠なものとなる。

3. 目的・方法

本研究の目的は、保育実習指導のDX化を実習日誌の電子化により実現し、学生指導の質を向上させるとともに、学生の本来の学びを中心とした実習実施への寄与が効果的かを検証することである。

本研究では、ICTを活用することで、本質的でない実習生の負担を軽減し、遠隔地の学外で行われる実習期間中の大学の指導担当教員によるリアルタイムの指導も円滑に行える手段を構築できるのではないかと考え、webサイト上で実習日誌を作成し、提出・フィードバックできる環境を構築する。実習日誌作成ページには時

DX of Childcare training -Building a training diary support system using a web app-

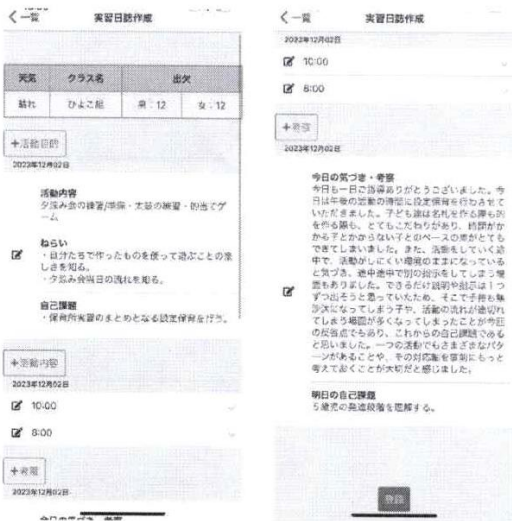
Miko Monden, Nariyuki Nakagiri, Yukio Sakisaka

*School of Human Science and Environment, University of Hyogo

**Early Childhood Care and Education, Nakamura Gakuen University Junior College

系列型の実習日誌を参考にし、天候、日付、クラス名、子どもの人数、主な活動、保育のねらい、今日の自己課題、時系列記録(時刻、子どもの活動、保育者の動き、環境構成、実習生の気づき・考察)、今日の気づき・考察、明日の自己課題についての記入欄を設ける。実習日誌作成が完了すると、指導担当者に web 上で提出し、受け取った指導担当者は学生に対する指導・助言を記入し、返却するという流れで実習日誌の作成・提出・フィードバックを行う。

今後は実際に実習生と指導担当者に本システムを使用していただき、実習日誌の電子化を行うことで従前の形態に比べ執筆時間、記述内容に変化がみられるかを検証する。また、養成校教員によるリアルタイムのスーパーバイズを可能にすることが、実習生指導の質の向上に繋がるかについても検証を行っていく。



実習日誌		実習指導担当教員印	
年月日	実習日	実習生名	山田 花子
6月 6日	木曜日	天候	曇り
クラス名	4歳児 もも組	乳児数	男 12 女 12
主な活動	園科授業	男	12
保育のねらい	園科授業を受ける。	女	12
今日の自己課題	保育所の一日の流れを理解する。	男	33
環境	子どもは保育室、保育士の動き、環境構成	女	33
実習生の気づき・考察	「園科授業」の大切さ、保育士の動きから、子どもは保育室、保育士の動き、環境構成	男	33
今日の気づき・考察	今日の気づき・考察	女	33
明日の自己課題	5歳児の発達段階を理解する	男	33
指導担当教員からの指導・助言	指導担当教員からの指導・助言	女	33

4. 考察

効果的な実習指導のDX事例を構築することは、昨今、量だけでなく質の向上も期待される保育者養成分野での有為な人材獲得にも繋がっていくと考えられる。さらに保育の本質とは異なる部分での脱落者を減らし、当該職種の質の高い人材供給の増加に繋げることを可能にするため、社会的課題の解決の具体的手法としても有望であるだろう。

5. 今後の展望

保育の世界において紙媒体が主流の中、本研究で構築したシステムを使用することに対して懸念が見られる可能性も考えられるため、慎重に調査を行っていく必要がある。そこで、本システムで記録した日誌内容を従来の日誌形式にあてはめ、PDFファイル化し、簡単に印刷できるようなシステムも構築していく予定である。そうすることで、紙媒体で日誌を見たいという意見への対応も行っていく。

6. 文献

- ・ 請川, 桑原, 吉岡, 加藤, 日下部, 根津: 「幼稚園実習におけるドキュメンテーション型日誌導入の試み—大学と附属幼稚園との協同を通して—」, 日本女子大学紀要, 70, 2023, p50
- ・ 小澤: 「保育者養成における実習日誌の指導に関する研究—実習園への聞き取り調査から—」, 敬心・研究ジャーナル, 2022, p23-31
- ・ 糟谷: 「保育所・幼稚園における園務情報化の課題についての一考察」, 岐阜聖徳学園大学短期大学部紀要, 50, 2018, p9-20